

報道関係各位

 2025年11月12日
 株式会社クロス・マーケティング

紅葉を楽しみたい人は5割 遠出しなくても近所の公園や並木道で秋を満喫

– 紅葉に関する調査（2025年） –

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「紅葉に関する調査（2025年）」を実施しました。2025年は全国的に残暑が長引き、多くの地域で紅葉の見頃が例年より遅れています。これから見頃を迎える地域もあり、秋の深まりとともに紅葉を楽しむ機会が広がりそうです。今回は、「紅葉への興味」「紅葉の楽しみ方」「紅葉に対するイメージ・感じていること」「おすすめの紅葉スポット」について聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20251112autumn>

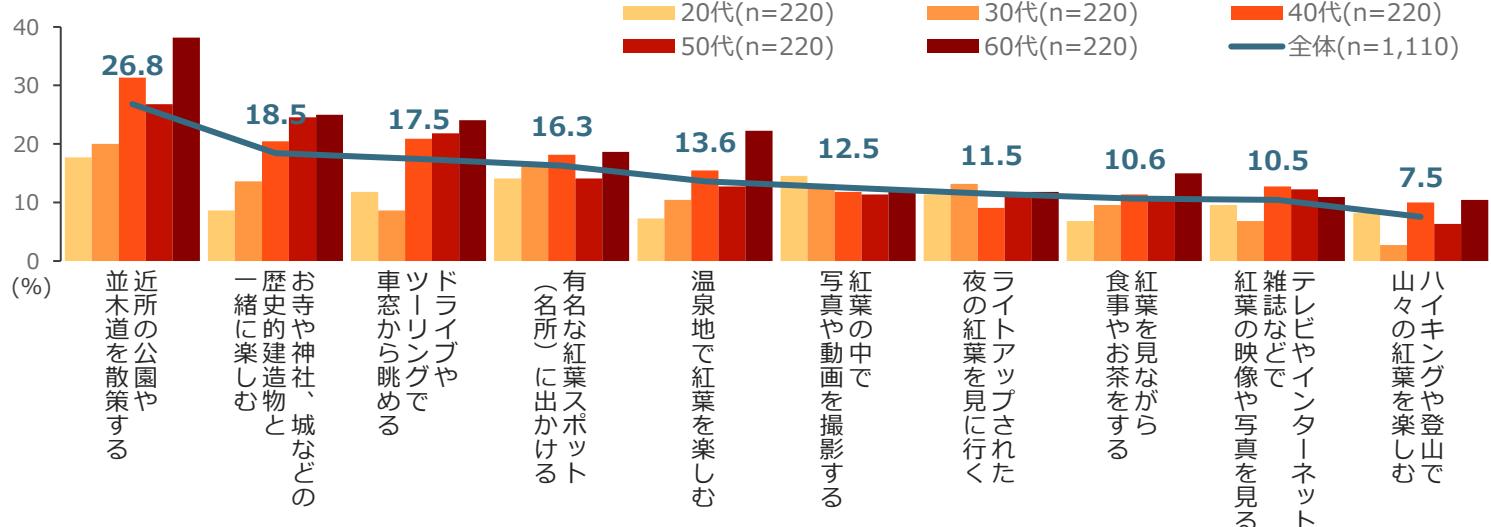
■ 調査結果

- ✓ 「紅葉を楽しみにしている」は14.9%、「機会があれば楽しみたい」は33.0%で、合わせて紅葉を楽しみたい人は47.9%。「特に紅葉に興味はない」も30.5%と一定数いた。
女性や、年代が上がるにつれ紅葉への興味も高まる。20代では「特に興味はない」が45.9%で関心が低い。<図1>
- ✓ 楽しみ方は、「近所の公園や並木道を散歩」（26.8%）が最も高く、次いで「お寺や神社、城などの歴史的建造物と一緒に楽しむ」「ドライブやツーリングで車窓から眺める」「有名な紅葉スポットに出かける」が続く。60代は加えて「近所の公園や並木道を散策する」「温泉地で楽しむ」「紅葉を見ながら食事やお茶をする」が高い。<図2>
- ✓ 紅葉に対するイメージ・感じていることは、「美しい・きれいだと感じる」「季節の移ろいを感じる」「風情がある・趣がある」が2割台でTOP3。
40～60代は上位3項目に加え、「心が安らぐ・癒される」「気分転換・リフレッシュになる」などに良さを感じている。<図3>
- ✓ おすすめの紅葉スポットは、「近所の公園」や「散歩コース」、「通勤路」など身近な場所に関する回答が多く見られた。有名な観光地へ遠出しなくとも、日常生活の中で季節の移ろいを楽しむといった声も散見された。<図4>

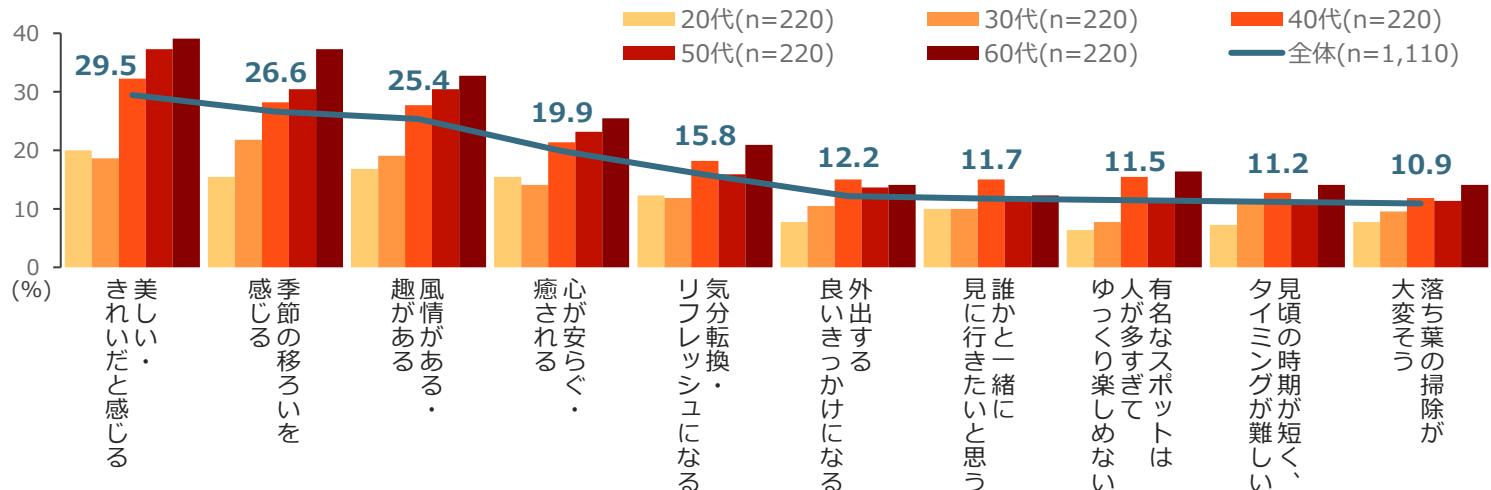
<図1> 紅葉への興味（単一回答）

	紅葉を楽しみたい 計					紅葉を 楽しみたい 計
	紅葉を楽しみにしている	機会があれば 紅葉を楽しみたいと思う	たまたま見かけば 眺める程度だと思う	特に紅葉に興味はない		
n=						
全体 (1,100)	14.9	33.0	21.6	30.5	47.9	
男性 (550)	14.4	29.6	20.5	35.5	44.0	
女性 (550)	15.5	36.4	22.7	25.5	51.8	
20代 (220)	14.1	24.5	15.5	45.9	38.6	
30代 (220)	14.5	30.9	15.9	38.6	45.5	
40代 (220)	15.9	30.0	25.9	28.2	45.9	
50代 (220)	15.9	35.9	25.5	22.7	51.8	
60代 (220)	14.1	43.6	25.5	16.8	57.7 (%)	

<図2>紅葉の楽しみ方 TOP10 (複数回答)



<図3>紅葉に対するイメージ・感じこと TOP10 (複数回答)



<図4>おすすめの紅葉スポット (自由回答一部抜粋)

■ 身近な場所

- 近くの公園が線路跡なので、歩きながら様々な紅葉が楽しめる（男性60代）
- いつもの通勤途中にある大学の周りの木々が次第に色付いていくのが、季節の移ろいを感じられて好き（女性50代）
- 近くの公園にイチョウ並木があって、とてもキレイ。毎年楽しみにしている（女性20代）
- 犬の散歩コースに紅葉する所があるので、そこを通るのが毎年の楽しみ（女性20代）

■ 具体的な名所・スポット

- 群馬県の榛名湖の紅葉を見に行く時は、伊香保経由で行くと、温泉も楽しめるのでおすすめ（女性30代）
- 箱根美術館の紅葉はとても綺麗で美術館と紅葉両方を楽しめるので気に入っている（女性60代）
- 人がどれほど多くても、永観堂や東福寺（京都）は見ごたえがある（女性50代）
- 豊田市の小原四季桜まつり。紅葉と桜が一緒にみられる（男性60代）
- 山形県・赤芝峡。観光地化されていないから、ひとけがない（男性40代）
- 北海道の大通公園。街中でも綺麗に見れて簡単に紅葉を楽しめる（女性50代）

■調査項目

- 属性設問
- 紅葉に対するイメージ・感じること
- 紅葉への興味
- おすすめの紅葉のスポット
- 紅葉の楽しみ方

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20251112autumn>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）

調査地域 : 全国47都道府県

調査対象 : 20～69歳の男女

調査期間 : 2025年11月7日（金）～8日（土）

有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>

所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F

設立 : 2003年4月1日

代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹

事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275

E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」